

## 編集後記

立春も過ぎ大きな流れとしては気温も高くなっていく傾向で、日の出は早くなり日の入りは遅くなって、日本全体の明るい時間がどんどん増えていき始めています。

昨日久し振りに出張で新潟県に行ったのですが予想外に雪が少ないのに驚きました。現地の工事現場の担当者のお話では今年も暖冬とのこと、いつもテレビで天気予報を見ているだけの私にとっては全くの認識違いでした。今年も北海道だけが平年並みの降雪量なのでしょう。

今最もホットな話題は千代田区長選挙結果です。あまりの大差で小池都知事が後押しした現役が勝利し、この半年強で大半の東京都民の心を掴んだ都知事の力量と人格には敬服します。7月の都議会選挙に日本中が興味を示すのではないのでしょうか。

さて、今年の2月号は大深度地下、地下構造物特集です。パイプライン

のような小さな構造物から地下備蓄大断面空洞、日本最大のシールド機を4台も一度に使用し、しかも大深度・長距離の東京外郭環状道路の紹介や、専門家だけでなく一般の方々にも興味がわきそうな東京メトロの地下鉄工事の話題など、技術と歴史を盛り込んだ素晴らしい報文を色々なジャンルの方が執筆して下さいました。また、今回頭が下がりますのは交流の広場において文筆には全くの素人の農園の御主人が2頁ほど書いて下さったことです。現在も東京の小平地域の農園には農業の一環の中でトンネルが数多くあるようです。高さ幅とも約1.5m程度で延長は5mに達するところもあるそうで、驚いたのは30年ぐらいい掘りっぱなしで未だに崩れていないことと、天端がアーチ状に造られているとのことでトンネル構造の理にかなっています。

最後に改めましてご執筆の大役を担って下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。

(中村・山本)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	本田 宜史
渡邊 和夫	

### 編集委員長

見波 潔 村本建設(株)

### 編集委員

新田 恭士	国土交通省
大槻 崇	国土交通省
田中 忠重	農林水産省
浅野 仁之	(独)鉄道・運輸機構
加藤 誠	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
荒瀬 純治	清水建設(株)
三輪 敏明	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
中村 優一	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
竹田 茂嗣	鉄建建設(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
中川 明	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
太田 正志	施工技術総合研究所

### 事務局

日本建設機械施工協会

### 3月号「地球温暖化対策、環境対策特集」予告

・二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を6割削減できる高炉スラグ高含有セメントを用いたコンクリートの実工事への適用 ・IoTで建機稼働計測CO<sub>2</sub>排出量評価ツール ・産業廃棄物処理の現場から水素社会を実現する技術 ・土木機械設備施工におけるLCA適用の考え方に関する一考察  
 ・山岳トンネル工事のエネルギーマネジメントシステム ・自動粉じん低減システム ・帯電ミストによる浮遊粉塵除去システム「マイクロECミスト<sup>®</sup>」の開発 ・グラブ浚渫の効率化と精度向上を実現したトータルシステム ・凝集効果が長期間持続する凝集剤による濁水処理方法の紹介 ・自然由来ヒ素汚染土壌の分離浄化処理工法の開発 ・高性能ポーリングマシンの低騒音化・自動化 ・トンネル工事の発破に伴う低周波音の低減装置 ・おもりをを用いた工事振動低減工法の概要

### 【年間購読ご希望の方】

①お近くの書店でのお申込み・お取り寄せ可能です。 ②協会本部へお申し込みの場合「図書購入申込書」に以下事項をのりなく記入のうえFAXにて協会本部へお申込み下さい。  
 …官公庁/会社名、所属部課名、担当者氏名、住所、TELおよびFAX  
 年間購読料(12冊) 9,252円(税・送料込)

## 建設機械施工

第69巻第2号(2017年2月号)(通巻804号)

Vol.69 No.2 February 2017

2017(平成29)年2月20日印刷

2017(平成29)年2月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話(0545)35-0212
北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話(011)231-4428
東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話(022)222-3915
北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話(025)280-0128
中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話(052)962-2394
関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話(06)6941-8845
中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話(082)221-6841
四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話(087)821-8074
九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話(092)436-3322

本誌上への  
 広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中